

# 農作業特報

令和3年7月9日

魚津市  
魚津市農業技術会議

今年のコシヒカリ（5月12日田植）の幼穂形成期（幼穂長2mm）は、平年より1日遅い7月13日頃と見込まれます。今後は、生育状況や気象等に留意して、穂肥施用や病虫害防除を的確に行いましょう。

◇コシヒカリの幼穂形成期頃の生育状況（魚津市生育調査ほ6カ所平均）

	草丈 (cm)	茎数(本)		葉色	幼穂長 (mm)	幼穂 形成期
		株当たり	m <sup>2</sup> 当たり			
R3年	63.5	23.4	463	3.9	0.2	7月13日
平年	72.2	24.1	474	4.0	0.2	7月12日

R3年: 7月6日調査  
平年: 過去10年間の平均値

## 1 コシヒカリの穂肥 ～生育状況を見て慎重に施用～

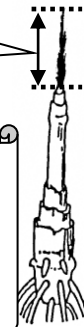
【分施肥体系の場合（平地、5月中旬植え）】

時期	幼穂長	草丈	葉色	肥料名および施用量
7月21日頃	1.5cm	82cm以下	3.6	追肥3号 10kg/10a

※中山間地域や5月中旬以外の田植えの場合は、施用時期が異なります。

(1) ほ場によって生育の進み方が違いますので、**幼穂長(1.5cm)**を必ず確認して、施用しましょう。

幼穂長1.5cmを確認する



(2) 穂肥施用時に草丈が長い(82cm以上)場合や、葉色が濃い(3.8以上)場合は、施用を3日程度遅らせましょう。

株の中で一番長い草丈の茎を根元から抜き取る。ほ場毎に5株程度で幼穂の長さを確認する。

基肥一発肥料のほ場で、葉色が薄い場合は、追加穂肥を施用しましょう。また、追加穂肥に備えて肥料を準備しておきましょう。

【追加穂肥の目安】

出穂10～7日前(7/25～28頃)に葉色が4.0未満(砂壤土は4.0未満)

直ちに追肥を!!

追肥3号  
5～10kg/10a

※遅くとも8/1頃までに施用しましょう。

## 2 出穂期までの水管理 ～適正な葉色へ誘導する～

幼穂形成期以降は、**飽水管理**（足跡に水が残る程度）を行い、水田が乾き過ぎないように注意しましょう。一方で、水を溜めっぱなしにするのも厳禁です。

## 3 病虫害防除

雑草地における斑点米カメムシ類の発生数は、前年と同様多発しています。カメムシ類による斑点米の発生を防ぐため、品種や生育に応じて**適期防除**を徹底しましょう。**早生品種**は出穂が早いため、被害を受けやすいので、**必ず3回防除**を行って下さい。また畦畔雑草にもカメムシが生息しているので、畦畔にも薬剤がかかるように散布しましょう。散布間隔は7日間を目安とします。（10日以上あけない）

【基本防除の目安】

○ 粉剤および液剤の場合

		防除日の目安	剤型	農薬名	散布量(10a)	使用基準(収穫前)	
							対象病虫害
基本防除	1回目 穂ばらみ期	早生	7/10頃まで	粉剤	モンセレン粉剤DL	4kg	21日前まで
		中生	7/22頃	液剤	モンカットフロアブル	1,500倍、100% <sup>※</sup>	14日前まで
		適用病虫害		紋枯病			
	2回目 穂揃期	早生	7/21頃	粉剤	ラブサイドスタークル粉剤DL	4kg	7日前まで
		中生	8/8頃	液剤	ラブサイドスタークルフロアブル	500倍、100% <sup>※</sup>	
	適用病虫害		いもち病、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ				
(追加)	3回目 傾穂期	早生	7/28頃	粉剤	キラップ粉剤DL	4kg	14日前まで
		中生	8/15頃	液剤	キラップフロアブル	1,000倍、100% <sup>※</sup>	
	適用病虫害		カメムシ類、ウンカ類、イナゴ類など				
(追加)	4回目	早生	8/4頃	粉剤	トレボン粉剤DL	4kg	7日前まで
		中生	8/22頃	液剤	トレボン乳剤	2,000倍、100% <sup>※</sup>	※14日前まで
	適用病虫害		カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、イナゴ類など				

- ・風向きと風力、散布量等に注意し周辺の作物や住宅地等への飛散防止に努めましょう。
- ・農薬は基準量を守って使用し、栽培履歴をしっかりと記録しましょう。

○ 微粒剤Fの場合

微粒剤F体系	防除日の目安	農薬名(対象病虫害)	散布量(10a)	使用基準(収穫前)	
穂揃期	中生	8/8頃	サジェスト微粒剤F (いもち病、紋枯病、カメムシ類など)	4kg	21日前まで
		傾穂期	8/15頃	キラップ微粒剤F (カメムシ類、ウンカ類など)	4kg

- ・市街地、公共施設周辺など、粉剤や無人ヘリコプターによる散布が困難な地域でご使用ください。

※カメムシ類の発生源となる畦畔や圃場周辺の雑草地の草刈りは本田防除前に終えましょう。また、草刈り後は、できるだけ雑草の穂が出ないように管理しましょう。

熱中症予防のため、こまめな水分補給を行い、体調管理に注意しましょう。